

電気通信大学で

# 一緒に小麦を育てよう！プロジェクト

## 3期目 第1回 小麦の種をまこう！ 実施報告書

### 1. はじめに

#### UEC ヘルシーキャンパスプロジェクトについて

「電気通信大学で一緒に小麦を育てよう！プロジェクト」は、UEC ヘルシーキャンパスプロジェクトの一環として実施されました。キャンパスの学生・職員、地域住民を含むコミュニティの心身の健康増進と教育研究の推進を目的として、2023年10月、電気通信大学アフラックホール UEC にてキックオフイベントが開催され、プロジェクト1期目が始動しました。

#### 電気通信大学で一緒に小麦を育てよう！プロジェクトとは

第1期（2023年度）のプロジェクトは、2023年11月の小麦の種まきから始まり、2024年6月の収穫、同年10月の手打ちうどん作りまで、約1年間にわたって小麦の栽培から調理に至る一連のプロセスを体験しました。第2期では、小麦の栽培に加え、大豆の種まきや小麦を活用した調理体験など、活動内容の拡充を行ってきました。



プロジェクトの概要

第3期の第1回となる本イベントでは、小麦栽培の初回活動として種まきを行いました。参加者は大学敷地内のガーデンにおいて小麦の種まき作業を行い、今後の成長や収穫、調理体験へとつながるプロジェクトの導入を体験しました。地域住民と学生が協力しながら作業を行い、食と農を通じた交流を深める機会となりました。

本プロジェクトの実施にあたっては、電気通信大学社会連携センターおよび UEC ヘルシーキャンパス推進 WG の協力に加え、特定非営利活動法人ソーシャルイノベーション協奏バンク、一般社団法人 SEEDS OF LIFE institute など、多くの関係機関・団体からの支援を受けています。

### 2. 当日の様子

#### イベント概要

【開催日】2025年12月13日（土）

【会場】電気通信大学 ガーデン、第一体育館下人工芝

【タイムスケジュール】

- 10:00 イベント開始
- 10:10 学内ガーデンにて農作業
- 11:30 人工芝にて軽食提供
- 12:00 イベント終了  
希望者のみ軽食提供

本イベントには大学関係者や地域住民の皆様など約30名が参加し、幼児からシニアの方々まで幅広い年代の方々会場に集い、協力して小麦の種まきを行いました。

## 農作業（ガーデンでの活動）

イベントの冒頭では、電気通信大学東地区に位置するガーデンへ移動し、農作業が行われました。イベントの冒頭では、電気通信大学東地区に位置するガーデンへ移動し、農作業が行われました。はじめに、本プロジェクトにご協力いただいているSEEDS OF LIFE institute より、今後約1年間の活動の流れや、本プロジェクトにおいて小麦と大豆の両方を育てる意義について説明が行われました。参加者は、これから始まる取り組みの全体像を思い描きながら、説明に耳を傾けていました。



草むしりの様子



レクチャーの様子



草むしり後のガーデン

その後、大豆狩りおよび雑草取りの作業が実施されました。ガーデン内には、大豆や雑草が伸び伸びと育っている場所もあれば、そうでない場所もあり、参加者は場所による植物の育ち方の違いに気づきながら、声を掛け合って作業に取り組みました。雑草はハサミを用いて刈り取られ、土が固くなっている部分についてはクワを用いて耕されました。力を要する作業は主に大人の参加者が担い、刈り取った雑草の束を運ぶ作業は子どもたちが担当するなど、世代の異なる参加者同士がそれぞれの得意分野を活かして協力する様子が見られました。作業の合間には自然と会話も生まれ、終始和やかな雰囲気の中で作業が進められました。

参加者同士の協力により、ガーデンは短時間で整備されました。作業後には、どの場所に種をまくかについて簡単な話し合いが行われ、「ここが良さそうだね」「この辺はどうだろう」といった声上がるなど、今後の作業への期待を共有する様子も見られました。

続いて、小麦の種まきが行われました。参加者は種を手のひらにのせ、地面全体にまんべんなく行き渡るようにばらまいて蒔きました。第1期から継続して参加している参加者から新規参加者に対して、種まきのコツが伝えられる場面も見られ、参加者同士の自然な交流が生まれていました。



種まきの様子



ネット張り後のガーデンの様子

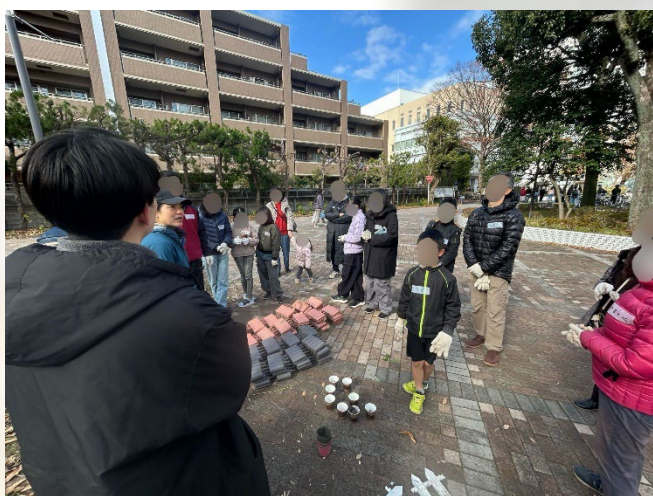
種まき終了後には、ゼミ生によってネット張りが行われました。

また、今回のイベントでは新たに腐葉土の作成が行われ、雑草や枯れ葉を活用した腐葉土が仕込まれました。さらに、木の実を蒔く作業も実施され、参加者は今後のガーデンの変化を楽しみにする様子が見られました

### 飲食提供および体験プログラム

農作業終了後には、参加者全員に対してパンとコーヒー、紅茶の提供が行われました。ソーシャルイノベーション協奏バンクより提供されたパンは好評で、温かいコーヒーとともに、農作業の感想を共有するなど参加者同士の会話も自然と弾んでいました。

本イベントを運営する大河原研究室は東京農工大学と連携した研究活動を行っており、当日は東京農工大学で作られたトマトジャム、ブルーベリー酢、乳酸菌飲料などの提供も行われました。また、電気通信大学で生産されたはちみつの試食も実施され、参加者はそれぞれの味の違いを楽しみながら試食していました。



木の実の説明



木の実



東京農工大学のジャム



電通大のはちみつ



MR 旅行体験の様子

さらに、大河原研究室が研究の一環として取り組んでいる、伊豆大島を対象とした MR（複合現実）旅行・観光プログラムの体験会も実施されました。参加者は、実際にその場にいるかのような感覚で観光地を体験できる MR 技術に関心を示し、驚きの声を上げながら体験を楽しむ様子が見られました。

これらの飲食提供および体験会の実施と並行して、野菜摂取状況を確認できる ベジメータ測定 も行われ、参加者は自身の測定結果を確認しながら、互いに感想を共有していました。



MR 旅行の様子

### 3. まとめ

「電気通信大学と一緒に小麦を育てよう！プロジェクト3期目第1回小麦の種をまこう！」では、皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。次回は収穫イベントを予定しています。

本学 HP（イベント情報）：

<https://www.uec.ac.jp/news/event/2024/>

大河原研究室 HP：

<http://www.ohkawara.lab.uec.ac.jp/>

大河原研究室 X（旧 Twitter）：

<https://x.com/ohkawaralab>

#### 【主催】

電気通信大学 大河原研究室

電気通信大学 社会連携センター

UEC ヘルシーキャンパス推進 WG

#### 【協力】

特定非営利活動法人ソーシャルイノベーション協奏バンク

一般社団法人 SEEDS OF LIFE institute

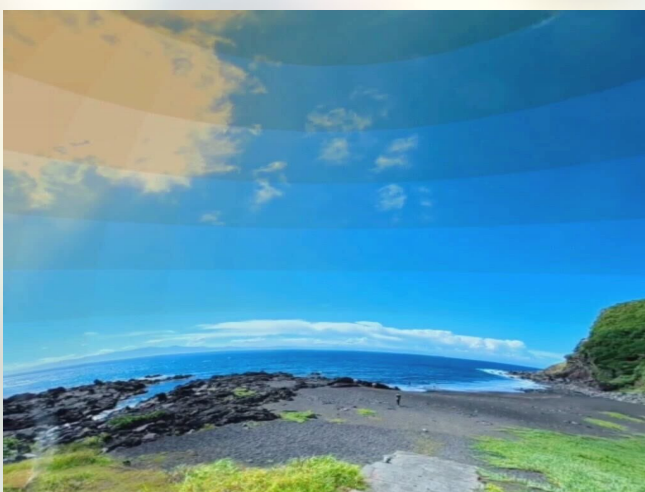
#### 【文責】

電気通信大学 大河原研究室 学部生 松井空嵐

#### 【お問い合わせ先】

電気通信大学 大河原研究室

メール：OhkawaraLab@gmail.com



MR 内での伊豆大島